



[フィルタ] ウィンドウ

OnCommand Workflow Automation

NetApp
October 09, 2025

目次

[フィルタ] ウィンドウ	1
フィルタテーブル	1
ツールバー	3
[新しいフィルタ (New Filter)] ダイアログボックス	4
プロパティタブ	4
[クエリ] タブ	5
コマンドボタン	5
[フィルタを編集 (Edit Filter)] ダイアログボックス	5
プロパティタブ	6
[クエリ] タブ	6
コマンドボタン	6
Clone Filter ダイアログボックス	7
プロパティタブ	7
[クエリ] タブ	7
コマンドボタン	8

[フィルタ] ウィンドウ

[フィルタ] ウィンドウには、使用可能なフィルタがアルファベット順に表示されます。このウィンドウにアクセスするには、 * ワークフローデザイン * > * フィルター * を選択します。



ロールとアカウントの権限によっては、このウィンドウが表示されない場合があります。

フィルタは、クエリベースの検索でリソースを検索する際に無関係なリソースを削除するクエリルールです。フィルタは、ファインダの開発に使用されます。

- フィルタテーブル
- ツールバー

フィルタテーブル

フィルタ (Filters) テーブルには、使用可能なフィルタがリストされます。各エントリは、次のいずれかとみなされます。

- - ユーザーが作成したコンテンツ
- - Professional Services (PS ; プロフェッショナルサービス) が開発したコンテンツ。PS によるカスタムインストールでのみ利用可能です
- - ユーザーが開発したパック
- - ロックされているユーザーが作成したコンテンツ
- - ネットアップ認定コンテンツ

各列に対応したフィルタリング機能とソート機能を使用したり、列の順序を並べ替えたりして、テーブルの表示をカスタマイズできます。

- テーブル全体のフィルタリングを有効または無効にします。フィルタリングが無効になっている場合は、アイコンの上に赤色の「x」が表示されます。
- をダブルクリックします フィルタリングの選択をクリアおよびリセットします。
- 各列ヘッダーのを使用すると、列の内容に基づいてフィルタリングできます。をクリックします 列では、ドロップダウンリストまたは使用可能なすべての項目で特定の項目をフィルタできます。
- 列ヘッダーをクリックすると、ソートの昇順と降順が切り替わります。適用されたソート順序は、ソート用矢印 ((昇順の場合) および (降順の場合))。
- 列の位置を並べ替えるには、列をドラッグアンドドロップして必要な順序で配置します。ただし、これらの列を非表示にしたり削除したりすることはできません。
- [* 検索 * (Search *)] フィルタテキストボックスをクリックすると、特定のコンテンツを検索できます。さらに、対応する列タイプ、アルファベット、数字を指定して、サポートされている演算子を使用して検索することもできます。

Filters テーブルには、次の列があります。

- * 認定 *

フィルタがユーザ作成かどうかを示します () 、 ps () 、 community () 、 ユーザーロック () 、 またはネットアップ認定 () 。

フィルタリストから 1 つ以上のチェックボックスを選択すると、フィルタを検索できます。

- * 名前 *

フィルタの名前が表示されます。

フィルタを検索するには、 [検索フィルタ (Search filter)] テキストボックスにフィルタの名前を入力します。

- * スキーム *

フィルタに関連付けられているスキームを表示します。スキームはシステムのデータモデルを表します。たとえば、 VC スキームには、仮想マシン、ホスト、データストアなど、仮想環境に関するデータが含まれます。

[検索フィルタ (Search filter)] テキストボックスにフィルタのスキームを入力して、フィルタを検索できます。

- * タイプ *

フィルタのディクショナリオブジェクトタイプ (アグリゲートアレイや CIFS など) が表示されます。

[検索フィルタ (Search filter)] テキストボックスにタイプを入力することで、フィルタを検索できます。

- * エンティティバージョン *

オブジェクトのバージョン番号を 「 major.minor.revision 」 形式で表示します。たとえば、 1.0.0 です。

検索フィルタテキストボックスにバージョン番号を入力すると、フィルタを検索できます。

- * 概要 *

フィルタの概要を表示します。

フィルタを検索するには、 [検索フィルタ (Search filter)] テキストボックスにフィルタの概要を入力します。

- * 最終更新日 *

フィルタが最後に更新された日時が表示されます。

フィルタドロップダウンリストから時間カテゴリを選択すると、フィルタを検索できます。

- * 更新者 *

フィルタを更新したユーザが表示されます。

検索フィルタテキストボックスにユーザー名を入力すると、フィルタを検索できます。

- * ロック元 *

フィルタをロックしたユーザが表示されます。

検索フィルタテキストボックスにユーザー名を入力すると、フィルタを検索できます。

ツールバー

ツールバーは列ヘッダーの上にあります。ツールバーのアイコンを使用して、さまざまな操作を実行できます。これらのアクションには、ウィンドウの右クリックメニューからもアクセスできます。

- *  (新規) *

[新しいフィルタ (New Filter)] ウィンドウを開きます。このウィンドウで、フィルタを作成できます。

-  (編集) *

選択したフィルタの [Filter <filter_name>] ウィンドウが開きます。このウィンドウで、フィルタを編集できます。

フィルタをダブルクリックして [フィルタを編集 (Edit Filter)] ウィンドウを開くこともできます。

-  *  (クローン) *

New Filter <filter_name>_copy ウィンドウを開きます。このウィンドウで、選択したフィルタのコピーを作成できます。

-  (ロック) *

[フィルタのロック] 確認ダイアログボックスが開き、選択したフィルタをロックできます。

-  (ロック解除) *

[フィルタのロック解除 (Unlock Filter)] 確認ダイアログボックスが開き、選択したフィルタのロックを解除できます。

このオプションは、ロックしたフィルタに対してのみ有効になります。管理者は、他のユーザによってロックされていたフィルタのロックを解除できます。

-  (削除) *

[フィルタの削除] 確認ダイアログボックスが開きます。このダイアログボックスで、選択したユーザが作成したフィルタを削除できます。



WFA フィルタ、PS フィルタ、サンプルフィルタは削除できません。

-  (エクスポート) *

選択したユーザが作成したフィルタをエクスポートできます。



WFA フィルタ、PS フィルタ、サンプルフィルタはエクスポートできません。

- (テスト) *

[テストフィルタ] ダイアログボックスが開き、選択したフィルタをテストできます。

- (パックに追加) *

パックフィルタに追加 (Add to Pack Filters) ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、フィルタとその信頼できるエンティティをパックに追加できます。このパックは編集可能です。



パックに追加機能は、証明書が [なし] に設定されているフィルタに対してのみ有効になります。

- (パックから削除) *

選択したフィルタの [パックフィルタから除去 (Remove from Pack Filters)] ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、パックからフィルタを削除または除去できます。



パックから削除機能は、証明書が [なし] に設定されているフィルタに対してのみ有効になります。

[新しいフィルタ (New Filter)] ダイアログボックス

[新規フィルタ (New Filter)] ダイアログボックスを使用して、新しいフィルタを作成できます。フィルタを使用してファインダを作成できます。

- プロパティタブ
- [クエリ] タブ

プロパティタブ

[* プロパティ * (* Properties *)] タブでは、フィルタの名前の指定、辞書オブジェクトの選択、およびフィルタの概要の入力を行うことができます。

- * 名前 *

フィルタの名前を入力できます。

- * タイプ *

リストから辞書オブジェクトを選択できます。

- * エンティティバージョン *

フィルタのバージョン番号を「 major.minor.revision 」形式で入力できます。たとえば、 1.0.0 です。

- * 概要 *

フィルタの概要を入力できます。

[クエリ] タブ

SQL クエリを入力し、属性のラベルと概要を編集できます。

- * SQL クエリ *

フィルタの SQL クエリを入力できます。

- * 入力パラメータ表 *

入力した SQL クエリからのパラメータのリストを表示します。このリストには、フィルタの使用時にユーザ入力が必要です。パラメータの * ラベル * または * 概要 * 列をクリックして、ラベルを編集するか、概要を入力できます。

- * 属性テーブル * が返されました

SQL クエリから返された属性のリストを表示します。

コマンドボタン

- * テスト *

定義したフィルタをテストできます。

- * 更新 *

Input Parameters テーブルと **Returned Attributes** テーブルに、変更された値（ある場合）を入力します。

- * 保存 *

フィルタを保存してダイアログボックスを閉じます。

- * キャンセル *

フィルタを保存せずにダイアログボックスを閉じます。

[フィルタを編集 (Edit Filter)] ダイアログボックス

[フィルタを編集 (Edit Filter)] ダイアログボックスでは、フィルタを編集できます。

- プロパティタブ
- [クエリ] タブ

プロパティタブ

[* プロパティ * (* Properties *)] タブでは、フィルタの名前の編集、辞書オブジェクトの選択、およびフィルタの概要の編集を行うことができます。

- * 名前 *

フィルタの名前を編集できます。

- * タイプ *

リストから辞書オブジェクトを選択できます。

- * エンティティバージョン *

フィルタのバージョン番号を「 major.minor.revision 」形式で入力できます。たとえば、 1.0.0 です。

- * 概要 *

フィルタの概要を編集できます。

【 クエリ 】タブ

属性の SQL クエリ、ラベル、および概要を編集できます。

- * SQL クエリ *

フィルタの SQL クエリを編集できます。

- * 入力パラメータ表 *

入力した SQL クエリからのパラメータのリストを表示します。このリストには、フィルタの使用時にユーザ入力が必要です。パラメータの * Label * または * 概要 * 列をクリックして、ラベルまたは概要を編集できます。

- * 属性テーブル * が返されました

SQL クエリから返された属性のリストを表示します。

コマンドボタン

- * テスト *

フィルタをテストできます。

- * 更新 *

Input Parameters テーブルと **Returned Attributes** テーブルに、変更された値（ある場合）を入力します。

- * 保存 *

フィルタを保存してダイアログボックスを閉じます。

- * キャンセル *

変更がある場合は保存されず、ダイアログボックスが閉じます。

Clone Filter ダイアログボックス

[クローンフィルタ (Clone Filter)] ダイアログボックスでは、フィルタをコピーして、フィルタを編集できます。

- プロパティタブ
- [クエリ] タブ

プロパティタブ

[* プロパティ * (* Properties *)] タブでは、フィルタの名前の編集、辞書オブジェクトの選択、およびフィルタの概要 の編集を行うことができます。

- * 名前 *

フィルタの名前を編集できます。クローニングするように選択したフィルタの名前が、クローンの名前として使用され、デフォルトでは _copy が付加されます。

- * 辞書タイプ *

リストから辞書オブジェクトを選択できます。

- * エンティティバージョン *

フィルタのバージョン番号を 「 major.minor.revision 」 形式で入力できます。たとえば、 1.0.0 です。

- * 概要 *

フィルタの概要 を編集できます。

[クエリ] タブ

属性の SQL クエリ、ラベル、および概要 を編集できます。

- * SQL クエリ *

フィルタの SQL クエリを編集できます。

- * 入力パラメータ表 *

入力した SQL クエリからのパラメータのリストを表示します。このリストには、フィルタの使用時にユーザ入力が必要です。パラメータの * Label * または * 概要 * 列をクリックして、ラベルまたは概要 を編集できます。

- * 属性テーブル * が返されました

SQL クエリから返された属性のリストを表示します。

コマンドボタン

- * テスト *

フィルタをテストできます。

- * 更新 *

Input Parameters テーブルと **Returned Attributes** テーブルに、変更された値（ある場合）を入力します。

- * 保存 *

フィルタを保存してダイアログボックスを閉じます。

- * キャンセル *

フィルタを保存せずにダイアログボックスを閉じます。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。